

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

メタウォーター株式会社（証券コード:9551）

【新規】

長期発行体格付
格付の見通し

A+
安定的

■格付事由

- 08年4月に日本碍子と富士電機それぞれの水環境事業子会社が合併して発足した総合エンジニアリング会社。21/3期末において日本碍子が筆頭株主、富士電機も第2位の株主であり、当社は両社の持分法適用会社である。主に浄水場や下水処理場などの施設や電気設備の設計、建設、運転・維持管理を手掛ける。日本碍子の機械技術、富士電機の電気技術を併せ持ち、これらにICT、運転・維持管理ノウハウを組み合わせたトータルソリューション提供を強みとする。近年は海外事業を成長分野と位置付け、欧米を中心に事業展開している。21/3期売上構成比は施設の設計・建設や海外事業を手掛けるプラントエンジニアリング事業 57%、運転・維持管理や公民連携などを手掛けるサービスソリューション事業 43%である。
- トータルソリューション提供の競争力は極めて高く、業界内において差別化された地位を確立している。豊富な実績を背景に顧客からの信頼も厚く取引基盤は堅固である。これらの強みを活かし、これまでの公民連携案件に加え、20年度において上下水および工業用水の大型コンセッション案件（いずれも国内初）を受託/優先交渉権を獲得。今後も実績の積み増しが期待できる中、当社のプレゼンスは一段と高まると見られる。運営委託案件の増加に伴って安定収益源の厚みは増す方向にあり、中長期にわたって業績拡大およびその安定性向上が継続すると考えられる。多額の設備投資を必要としない上、安定したキャッシュフロー創出力によって財務リスクは僅少である。今後は財務体質の向上が図れると想定している。以上より長期発行体格付をA+とした。格付の見通しは安定的である。
- 営業利益は16/3期をボトムに増加基調にある。21/3期営業利益は108億円（前期比32.1%増）と最高益を更新。増益には退職給付信託株式売却による未認識数理計算上の差異の一括償却による影響が含まれているが、同影響を除いた本業ベースでも91億円（同10.7%増）である。22/3期営業利益は85億円（同21.8%減）の見通し。数理計算上の差異の一括償却の反動に加え、人材先行投資による販管費の増加などにより減益となるが、最高益に次ぐ水準である。当面も業績の底上げが進展する見込みである。また海外事業の強化によって、収益力が一段と向上するか注目していく。
- 近年の自己資本比率は40%台を維持しており、安定的に推移している。21/3期末自己資本比率も40.6%となっている。また、15/3期末以降、手元流動性が有利子負債を上回る実質無借金状態を維持している。売上債権が総資産の過半を占めているが、顧客基盤や回転期間の安定度を勘案すれば懸念は小さい。今後も海外事業の強化などによってM&Aが実施される可能性はあるものの、キャッシュフロー創出力などから見れば、財務健全性は高まる方向にあると考えている。

（担当）里川 武・外窪 祐作

■格付対象

発行体：メタウォーター株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年8月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) メタウォーター株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル